

## 概要

## OECDに対する厚生労働省の財政的貢献の推移

年度	Ⅱ部分担金			任意拠出金	
	ユーロ	千円	内容	ユーロ	千円
2006 (H18)	66,725	9,075	(化学品プロジェクト、地域経済雇用開発プログラム)	324,933	44,191
2007 (H19)	102,839	15,117	(化学品プロジェクト、地域経済雇用開発プログラム)	300,619	44,191
2008 (H20)	94,390	15,480	(化学品プロジェクト、地域経済雇用開発プログラム)	276,977	39,608
2009 (H21)	94,772	13,552	(化学品プロジェクト、地域経済雇用開発プログラム)	276,977	39,608
2010 (H22)	92,713	12,423	(化学品プロジェクト、地域経済雇用開発プログラム)	277,306	37,159

- (注) 1. OECDの活動は、Ⅰ部分担金（全加盟国に共通する利害に関する中核的な活動に充てられるもの。外務省が一括して拠出）、Ⅱ部分担金（一部の加盟国が参加するプロジェクトに充てるもの）及び任意拠出金（加盟国が任意にプロジェクトに拠出するもの）により運営されており、厚生労働省はⅡ部分担金や任意拠出金を通じて財政的貢献をしている。
2. 任意拠出金は、主に雇用政策、医療政策、社会政策等の分野に対し拠出している。

## 国際交流

### 概要

### 国際交流の概要

厚生労働省では、厚生分野、労働分野における先進国共通の課題解決に資するため、政府間交流を行っている。

#### 1. 近年の主な政策対話（過去3年）

時期	名称（開催地）	参加国	テーマ
2008年1月	日・EUシンポジウム（東京）	欧州連合、日本	雇用・就労形態の多様化
2009年2月	日独仏3ヶ国シンポジウム（東京）	ドイツ、フランス、日本	介護制度
2009年5月	日北欧高齢化セミナー（フィンランド）	ノルウェー、フィンランド、スウェーデン、デンマーク、日本	①私的介護、公的介護／高齢者に対するサービス提供、②高齢層に対する福利の促進、③家族へのサポート／インフォーマルケア
2010年1月	日仏セミナー（フランス）	フランス、日本	医療制度・財政及び医療と介護の連携
2010年2月	日独政労使交流（ドイツ）	ドイツ、日本	①人口動態変化（高齢者雇用）、②労働市場政策（雇用維持・雇用創出政策）、③介護問題（介護人材不足・確保）
2010年3月	日・EUシンポジウム（ベルギー）	欧州連合、日本	より安全でより健康的な職場
2010年6月	日中交流事業	中国、日本	金融危機後の雇用問題への対応等
2010年7月	日韓社会福祉交流	韓国、日本	高齢化対策
2010年11月	日中韓三国保健大臣会合（韓国）	中国、韓国、日本	新型インフルエンザ対策や臨床研究、災害等の緊急時対応、食品安全、健康関連ミレニアム開発目標（MDGS）